

「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座

2月15日(木) 13:00~16:30 於/杉並区役所6階 会議室

外国人とのコミュニケーションに関する基礎知識、そして外国人に対する「おもてなし」の心を学ぶ講座に区民57名が参加し、映像やグループ学習を通してコミュニケーションのスキルアップを試みました。講座修了時にはそれぞれが「外国人おもてなしボランティア」に登録し、東京都から「登録証とバッジ」が配られました。

この講座は、杉並区では2016年より開始し、今回が4回目。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての取り組みというだけでなく、グローバル化し、また訪日外国人観光客、外国人居住者の増加などの現状に対応して実施されました。

講座は英会話学校講師の進行で展開され、気持ち良い挨拶、ショートスピーチを心がけることを前提にしながら、まず映像で、外国人と意識的に好ましいコミュニケーションをとっている事例を見て考えることから開始。その後、グループでのジェスチャーゲームや問題解決の方法を言語だけでなく、「絵を描く、地図で表す」などを試みました。そして最後は、このようなボランティアに大切なスピリッツをグループで発表し終了しました。今回の講座では、身近で具体的な課題に対して、受講者それぞれの知識や経験を生かした回答ができ、それぞれの自信につながる場面もありました。今後、参加者それぞれの個性に応じた活用が期待できるのではと感じました。(広報部Y)



★ 2018年度 ★ 杉並区交流協会の主な事業予定

5月19日(土)	ウェルカムパーティー	12月中旬	台湾友好親善ツアー
6月9日(土)	まるごと台湾フェア	1月下旬	外国人のための無料専門家相談会
7月17日(火)	「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座	3月上旬	日本語スピーチ大会
11月上旬	すぎなみフェスタ参加	〈その他〉海外文化セミナー、外国語入門講座、交流自治体訪問ツアー 語学ボランティアスキルアップ講座など	

内容が決まり次第、HP・Facebookでお知らせします。

Event Information from SACE 交流イベント情報

◆ 交流協会からのお知らせ ◆

● なみすけフェア
新発売のなみすけグッズを取り揃えたフェアを開催します!

◇日 時: 4月2日(月)~13日(金)
9:00~16:30

◇場 所: 区役所1階 コミュカルショップ

● 英語コミュニケーション講座(英会話初級)

カナダ出身のネイティブ講師から、楽しく英語を学びましょう。

◇日 時: 5月28日~7月9日
毎週月曜日(計7回)
①13:30~15:00 ②15:30~17:00

◇参加費: 《一般》9,500円 《会員》8,500円

◇場 所: 杉並区交流協会

◆ 国内交流自治体からのお知らせ ◆

● 小千谷ふるさと市場

新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚沼産コシヒカリなどの販売

◇日 時: 4月16日(月)、6月11日(月)
10:00~14:00

◇場 所: 区役所中杉通り側入口前

● 小千谷フェア

新潟県小千谷市の笹団子や小千谷そば(へぎそば)、魚沼産コシヒカリなどの販売

◇日 時: 4月22日(日)、5月27日(日)
6月24日(日) 11:00~13:30

◇場 所: 小千谷学生寮駐車場(井草4-16-23)

● 忍野村観光展

山梨県忍野村で毎年開催している「富士忍野グラプリフォトコンテスト」の入賞作品展

◇日 時: 5月14日(月)~18日(金)
8:30~17:15

※5月14日(月)は13:00~
5月18日(金)は15:00まで

◇場 所: 区役所2階 区民ギャラリー

● 北塩原村観光物産展

福島県北塩原村の高原野菜や山塩、花豆などの特産品販売

◇日 時: 5月31日(木)~6月1日(金)
10:00~15:00

◇場 所: 区役所中杉通り側入口前

● 名寄市アスパラまつり・写真展

北海道名寄産のグリーンアスパラの販売と風景写真の展示

◇日 時: 6月6日(水)~8日(金)

10:00~15:00(物産展)

6月6日(水)10:00~
6月7日(木)17:15まで(写真展)

◇場 所: 区役所中杉通り側入口前(物産販売)
区役所1階ロビー(写真展)

● 南相馬市観光展

福島県南相馬市「相馬野馬追」写真展と特産品の販売

◇日 時: 6月19日(火)~22日(金)
8:30~17:15(写真展)

6月21日(木)10:00~14:00(物産展)

◇場 所: 区役所1階ロビー及び区役所2階区民
ギャラリー(写真展)
区役所中杉通り側入口前(物産展)

● 南伊豆町観光物産展

静岡県南伊豆町の干物や海藻など特産品販売

◇日 時: 6月25日(月)10:00~14:30

◇場 所: 区役所中杉通り側入口前・
区役所1階コミュニティショップ前

※物産展はいつでも雨天実施・売り切れ次第終了となります。

マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。
問合せ: 区役所文化・交流課交流推進担当
☎03-3312-2111(代表)

すぎなみ交流ニュース

第48号

2018年4月

Suginami Cultural Exchange News

수기나미 교류 소식

杉並的交流消息

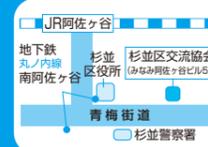
◆発行: 杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階

[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]

TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

<http://www.suginami-kouryu.org/>



目次

第15回日本語スピーチ大会

外国人のための相談会報告
語学ボランティアスキルアップ
講座報告

..... 2~3

「外国人おもてなし語学ボラン
ティア」育成講座
2018年度主な事業予定 ほか

..... 4

ウェルカムパーティー

★ 参加者募集中! ★

杉並区でより良く暮らしていくための知識と体験、人と人とのつながりを生み出す毎年恒例のイベントです。

杉並警察署、杉並消防署、清掃事務所、区防災課の協力を得て実施します。

- 【日 時】 5月19日(土) 10:30~15:00(雨天実施)
- 【会 場】 区立杉並第一小学校(阿佐谷北1-5-27)
- 【内 容】 防災訓練(煙・消火体験など)、交通安全指導、ゴミ分別体験、アルファ米でのおにぎり作り、交流ゲームなど
- 【定 員】 外国人50名、日本人50名(先着順)
- 【参加費】 100円(保険料)
- 【申込方法】 電話、ハガキ、FaxまたはEメールで行事名・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・国籍を書いて、杉並区交流協会へ



食べる! 見る! 聞く! 第6回 まるごと台湾フェア

中学生の野球交流や高円寺阿波おどりの台湾公演など交流を深めている台湾の魅力をまるごと紹介します。ホールで映画上映、中庭にはフードコーナーもあります!



日時 6月9日(土) 10:00~17:00
場所 セシオン杉並(梅里1-22-32)
内容 台湾料理キッチンカー販売、特産品販売、台湾映画上映、台湾の文化紹介など
問い合わせ 杉並区交流協会 03-5378-8833

映画「ママ、ごはんまだ?」

特別上映会 セシオン杉並ホール

原作者 一青 妙
舞台挨拶&トークショー



13:30 開場
14:00 開演
17:00 終演予定
全席自由席
前売り 500円
当日 700円
(高校生以下
前売り 300円
当日 500円)
販売: 杉並区役所1階
コミュニティショップ
予約: 杉並区交流協会
ホームページで
ネット予約又は
電話

詳細は <http://suginami-kouryu.org>

交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年会費
・個人会員 1,000円/年
(9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
・法人会員 20,000円/年
会員期間
入会の月から3月31日まで(当年度末)

会員特典
① イベントの情報や交流に関する情報紙 [交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など] をお届けします。
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
③ イベント参加費に会員割引があります。

申込方法
入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。



HP・Facebook 随時更新!!

杉並区交流協会

検索

第15回 外国人による日本語スピーチ大会

2018年3月3日(土) 13:30~17:00 於:座・高円寺

今年の大会は、12名の日本語スピーチに続いて、エベレスト・インターナショナルスクール・ジャパンの子どもたちによる日本語での発表と民族舞踊、津軽三味線と和太鼓の演奏、最後に表彰式という流れで進みました。

観覧された方々からは、「日本への着眼点が新鮮でした」「精一杯発表している姿に感動しました」「参加者の国籍が多様で欧米中心だった時代からの変化を感じました」などの

感想が寄せられました。

津軽三味線と和太鼓の演奏には、「先祖が青森なので津軽の血がたぎりました」というコメントも。力強いばちさばき、太鼓の音とリズムで思いを表現する「太鼓言葉」を日本語発表会に組み込むことで、多様なコミュニケーション方法があることを思い起こさせる素晴らしい構成でした(広報T)。

入賞者のご紹介



【最優秀賞】「ポーランドと日本の共通している点」 プライスナー・ユリアさん(ポーランド)

3つの共通点。第1にショパンが好きなこと。日本人はショパンの曲にもものあわれを感じ取り、戦争でよく負けていたポーランド人はショパンがその哀愁をうまく表現してくれていると感じています。第2に第二次世界大戦で両国の市民が多くのユダヤ人を助けたこと。例えば、イレーナ・センドラーさんや杉原千畝さんをあげることができます。第3に両国の文学は義理と人情の板挟みをテーマにしたものが多いこと。分割時代のポーランドでは人情と祖国に対する忠誠心の葛藤が小説に描かれました。日本人でも人情と藩への忠誠心との葛藤をテーマにした文学が多いのではないのでしょうか。日本滞在中に私の「愛するポーランド」のことを日本の人たちに知ってもらえるように努力したいと思います。

【優秀賞】「勉強とお金、どちらが大切？」 チャーダ・アディティさん(インド)

私の家族はインドでは中間クラスです。ずっとお金持ちの家に生まれたらよかったのと思っています。中間クラスだとお金を稼ぐために苦労しなければならないからです。でも父は言いました。「人間は自分の人生をどう送るのか、それぞれの運命によることもあるし、自分の努力によっていい方向に進むこともできるのだよ」と。私の家族が安定した暮らしを送れるのは父の勉強と努力のおかげです。人間のお金に対する欲望には限りがありません。日本にきて私も勉強と努力によって人は変わっていくのだと思えるようになりました。できればすべての子どもたちに勉強ができる環境が保障されることが大切です。そうすればもっと幸福な人たちが増えていくでしょう。



【優秀賞】「日本との出会い」 林 嘉柔さん(台湾)

日本に留学したのは子どもの頃から母に日本のことを聞かされていたことと、日本のことが大好きな友達の影響です。アルバイト先では夜なのに挨拶は「おはようございます」。最初は聞き違いかと思いました。学校で習った挨拶と違う！なぜ？しばらくして疑問が解けました。それは業界用語だったんです。店長は私のために接客用語のリストを作ってくれました。杉並区交流協会の日本語教室の優しくて親切なボランティアさんたちからは、日本語だけでなく日本文化の体験もさせてもらいました。日本で出会ったすべての人たちは私の一生の宝物です。すべての人たちに貴重な思い出をありがとうとお伝えしたいと思います。幸せな1年でした。



【特別賞】「孤独な日本人」 ツェイー・ワンモさん(ブータン)

私は新聞奨学生です。くじけそうになる時は、父から「始めたことをすぐに諦めるのはダメですよ」と教えてもらったことを思い出します。朝刊を配っているときはとても静かで、地球上に私ひとりしかないように感じます。朝刊の配達中に高齢のおばあさんが救急車に乗せられて行きました。私は「何で一人で行くの？家族はどこ？誰も一緒に行かないの？」と思いました。ブータンなら家族みんなで病院に行って治るまで一緒にいます。また誰も知らないうちに一人で亡くなることを、「孤独死」と言うのを知りました。日本人はお金持ちで便利な生活をしていますが、人と人とのつながりに少し問題があるのかもしれない。ブータンの人たちにとって一番大事なのは家族と友だちです。日本の社会問題がいつか解決できますように。



語学ボランティア 英語スキルアップ講座

於:阿佐谷地域
区民センター

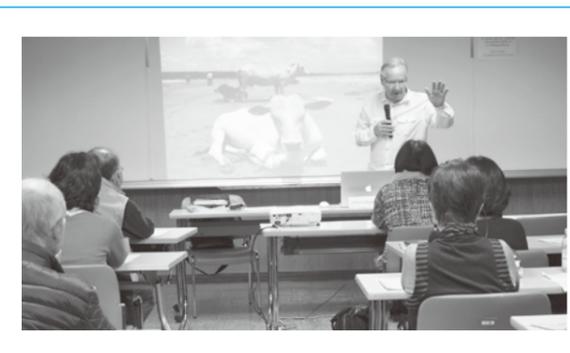
2月20日(火) 杉並区交流協会に登録している語学ボランティアを対象とした英語スキルアップ講座が開催されました。これは語学ボランティアの方々のスキルアップを目指し更なる活躍の場を広げてもらうことを目的とした講座です。講師は国際基督教大学準教授クリス・ギャラガー氏。講義や質疑応答もすべて英語で行われました。

テーマは“An Indian Odyssey: Cultural Experience in India & Research on Language and Identity (インドの旅:文化体験、言語とアイデンティティの調査研究を中心に)”。約1年間滞在した南インド・ゴア州について、街の様子や体験談を多くの写真やスライドを使って説明してくださいました。

ゴア州は約450年間ポルトガルの支配下にあり、当時の建築物が多く残されています。一方でフランス風の建築やイスラム教のモスクなどもあり、複雑な歴史を重ねてきたことがわかりました。街中は活気にあふれ、人々はのどかな生活を送っていますが、深刻な貧困やごみ問題も存在しています。野良犬がうろつき、牛がいたるところに歩いていますが、美しいビーチリゾート地としても知られています。

すべてが混在する社会。講義を聞きながら、ゴアの特徴として語られたBeautiful Chaos(美しき混沌)を実感することができました。

講師は自ら体験した数多くのエピソードを時折ユーモアを交えながらわかりやすい英語で語ってください、私たちは英語とまだ見ぬインドの地を十分に満喫できた1時間でした。(広報&T)



【受講者の感想】

- ・インドのゴアを旅行しているような気持ちになる楽しいクラスだった。
- ・英語だけではなく、インドについて深く学ぶことができた。
- ・具体的な話で非常に面白かった。実際に生活した体験者としての印象に興味があつた。
- ・このような文化を英語で学べるのは楽しいのでまた参加したい。

未来への確信はどこから？

12名・10カ国からの発表者の大多数は、日本滞在期間2年未満の留学生でした。聴講された多くの方が感じた「感動」の正体は何だったのでしょうか。

ひとつは発表者たちが的確に日本社会の問題点をつかみ取っていることへの驚きでした。経済的に発展して便利な生活を送っている日本人が疲れていて、人生の最後に孤独死を迎えているのは、人と人とのつながりに問題があるからだと捉えていました。

もうひとつは発表者たちの発表がいまよりも未来はよくなるという確信に満ち溢れていたこと。「目標達成に向けて努力した先に花が咲く」、「アルバイトは夢を実現するための一歩」、「怠けている時間はありません」、と力強く瞳を輝かせて語る若者たちに出会い、年配の聴講者は日本にもそんな時代があったことを思い出していたのかもしれない。

発表者たちの未来への確信はどこから湧いてくるのでしょうか。発表者たちを支えているのは、家族や共同体との結びつきです。言葉も文化も異なる日本で頑張れるのは自分のためだけではないからです。自分の努力を心から喜び誇りに思ってくれる人びととの確かなつながりの中に生きているからです。この点は私たちが留学生から学ぶ大切なポイントになりそうです。「人間はどこに住んでいても、朝起きて、ご飯を食べて、仕事に行く。違いよりも共通点を大切にしましょう」と語ったのはベラルーシのアナスタシアさん。わかりあえなさを前提にしたうえで、わかりあおうとする努力をやめない「ギャップ越しの対話」のすずめのように聞こえました。



↑エベレスト・インターナショナルスクール・ジャパンで学ぶネパールの子どもたち

← 四田大智・橋口隆之・金刺由大 feat. ひむかし&疾風

外国人のための 無料専門家相談会 実施報告

開催日時: 2018年1月27日(土)
13:00~16:00 会場: セシオン杉並

専門家 弁護士、行政書士、社会保険労務士、税理士、行政相談委員

通訳ボランティア 8言語
英語、中国語、韓国語、朝鮮語、イタリア語、タイ語、ポルトガル語、ネパール語、ベンガル語

都内の自治体でリレー開催している無料相談会。杉並区では8名の方が相談に訪れました。

相談者数8名 相談件数11件

国籍		専門家別対応件数	相談内容別件数
国名	人数	専門家 件数	相談内容 件数
中国	3	弁護士 4	在留資格・ビザ・旅券 4
韓国	1	税理士 4	税金 2
アメリカ	1	行政書士 2	結婚・離婚・家族等 2
スペイン	1	社会保険労務士 0	保険・年金 2
ネパール	1	臨床心理士 1	労働・賃金・解雇等 1
モロッコ	1	総数 11	総数 11
総数	8	総数 11	総数 11